



【すてきなお店、自慢の逸品を発見!】

今月号の「すてきなお店、自慢の逸品を発見!」は「昭和のお菓子編」です。元号が「令和」となって間もなく5年が経過しようとしています、「昭和」が懐かしいという方も多いのではないのでしょうか? 「昭和らしさ」「五所川原らしさ」が満載なすてきなお菓子をご賞味ください。

No.047 ~ 市民権を得た和菓子 ~

「むしおくり最中」

誕生してから50年以上も経過した「むしおくり最中」は、今もたくさんの方がお店を訪れており、五所川原市の銘菓として「市民権を獲得した」と言っても過言ではありません。豪快な見た目は一度見たら忘れられないほどです。

中身の餡子は豆を潰さず、空気が入らないようにするため、へらで混ぜる回数を減らすことで、おいしさを表現していると店主は語ります。かつての五所川原三大百貨店(中三、マルキ、丸友)の元従業員は「最中は売れすぎて、1日に何度も補充した。」と語り、店主いわく1日で8,000個作った時もあるそうです。

店 舗 名…不二屋製菓
住 所…錦町1-101
営業時間…8:00~18:00
定 休 日…日曜日
電話番号…34-2293
そ の 他 公式Instagram



No.048

~ ごしょ1グランプリ初代王者 ~

「どうまん」

「どうまん」が看板商品の竹屋菓子店は創業59年目を迎えます。ドーナツのような饅頭のような見た目ですが、名前の由来は定かではなく、現店主が先代に何度由来を聞いても、先代はニコニコしながらぐらかしたそうです。秘密めいた所も「どうまん」の魅力の一つです。

食べた時の脂っささ、重さを無くすために、高級な米油で揚げており、食の細い子供が1度に何個も食べたそうです。

また、2013年に市内で開催された「ごしょ1グランプリ(お菓子編)」では、名だたる銘菓18品の中で第1位に輝きました。

店 舗 名…竹屋菓子店
住 所…寺町2
営業時間…9:00~18:00
定 休 日…不定休
電話番号…35-3243

問い合わせ先…地域物産振興課 内線2555

